

6章 助動詞1

要点

■確認問題1

解答

- (1) 信号を無視して、交通量の激しい道路を横切ろうとする人もいるものだ。
- (2) 窓を閉めてくれませんか。
- (3) 起こった出来事を誰にも言うつもりはない。

■確認問題2

解答

- (1) Shall
- (2) will
- (3) will, will

■確認問題3

解答

- (1) テリーは怒ったらいつも、歩いて部屋から出て行ったものだ。
- (2) アレックスは遅れないと約束した。
- (3) 私たちはボートを借りようとしたが、誰も貸してくれようとしなかった。

■確認問題4

解答

- (1) 新聞で読んだことをすべて信用するべきではないと私は思う。
- (2) ケイトは試験に合格するはずだ。一生懸命勉強し続けているのだから。
- (3) ケビンが自分の研究をあきらめなければならないなんてかわいそうなことだ。
- (4) 彼らは彼に家にいるよう命令した。

■確認問題5

解答

- (1) 彼らは燃えさかる家から赤ちゃんを救助できた。
- (2) 少しお待ちいただいてもよろしいでしょうか。

■ 確認問題6

解答

- (1) この部屋でタバコを吸ってもよい。
- (2) あなたは、今は私の言うことを信じないかもしれない。
- (3) あなたが勝ちますように。

■ 確認問題7

解答

- (1) 彼女は失敗するかもしれないと言った。
- (2) 彼は私に家に帰ってもよいと言った。

■ 確認問題8

解答

- (1) 法に従わなければならない。
- (2) 法を破ってはいけない。
- (3) 若い労働者たちは高い税金を払わなければならないだろう。
- (4) あなたは今日仕事に行く必要はない。
- (5) その老人は少なくとも70歳に違いない。

■ 確認問題9

解答

- (1) あなたはこの仕事に応募すべきだ。
- (2) 彼女はお金をいくらか借りる必要があった。
- (3) あなたは今夜出かけない方がよい。

問題

【1】

解答

can

解説

(1) 「私は余計なことは何もしない。」

- more than one can help 「必要以上に」 [←しないですむ以上に；余計に]

(2) 「その食べ物は嫌なにおいがする。それを食べることなどできない。」

- How can you …? 「どうして…できようか」 (いや、できない) [修辞疑問]

【2】

解答

ウ

解説

最初の英文：「私が何を言っても、あなたは聞こうとしなかった。」〔過去の強い「意志」を表す would〕

ア 「彼は雨が降るとは思わなかった。」〔「推量」を表す will が主節の時制 (did) を受けて過去形になったもの。〕

イ 「私は昔、部屋で音楽をよく聞いたものだった。」〔過去の「習慣的行為」を表す would〕

ウ 「誰もそのお金が隠されている場所を我々に教えようとしなかった。」〔過去の強い「意志」を表す would〕

エ 「もし雨が降るのが夜だけだったら、素晴らしいと思いませんか。」〔仮定法の would〕

【3】

解答・解説

(1) must [may] not 「ここでは禁煙です。」〔「許可」を表す助動詞 may, can を否定文で用いて「禁止」の意味を表せるが、must not よりも柔らかい言い方。ただし can は cannot と 1 語でつづるのが普通なので、ここでは不適である。〕

- prohibit ~ from …ing 「～が…するのを禁じる」

(2) May [Can] 「私の家族をあなたに紹介させてください。」〔「許可」を表す助動詞 may, can〕

- let ~ do 「～に…させる」

(3) Shall I 「今晚あなたを迎えて参りましょうか。」

- Shall I …? 「…しましょうか」

- call for ~ 「～を呼びに立ち寄る」

(4) can 「稻妻は危険であることがある。」〔「可能性」を表す can〕

(5) ought to 「君は学校で非常に多くのことを習得しているので、これをよく知らないはずはない。」

- too ~ not to do 「…しないには～すぎる → 非常に～なので…できる」
cf. too ~ to do 「…するには～すぎる → 非常に～なので…できない」
 - so ~ that … 「非常に～なので…」
 - ought to do 「…するべきだ, …するはずだ」
- (6) better not 「煙草を吸いすぎない方がよい。」
- had better not … 「…しない方がよい」 [主語が2人称の場合, 「…するな」という「禁止」の意味を含むことが多い。]

【4】

解答・解説

- (1) ウ「ドロシーは今事務所にいない。彼女はカフェテリアでコーヒーを飲んでいるのかもしれない。」[主観的な「推量」を表す。have coffee の have は動作動詞なので進行形をとり, この場合現在進行中の動作を表す。]
- (2) イ「ドイツ語を話すなんて, あなたは一体誰ですか。」[「感情(驚き)」を表す should. that は「判断の根拠」を表す副詞節を導く用法。]
- (3) ウ「すべての会員ができるだけ早くクラブの規則を知ることが必要だ。」
- it is necessary that ~ (should) … 「～が…することが必要だ」
 - inform ~ of … 「～に…について知らせる」

【5】

解答

ア

解説

「私が見上げた時, そこに私が見たのは, 何と巨大な蜘蛛であった。」[疑問詞とともに用いて「驚き」を表す should。]

ア「彼が死んでいたとは驚きである。」[「感情」を表す should で, 「驚き」を表す。]

イ「もし 1000 ポンド持っていたら, 私は長期休暇をとっていただろう。」[仮定法過去完了の帰結節]

ウ「彼は 20 分前に家を出た。もう事務所に着いているはずだ。」[「もう…しているはずだ」という「完了の推量」の意味]

エ「私はドアに鍵をかけるべきだったが, そのことを忘れていた。」[「…すべきだった」の意味]

【6】

解答

英語を読む時, ひょっとするとあなたは傍らに辞書を1冊置いているかもしれません。知らない新しい語に出会うたびに, すぐにそれを調べずにはいられない, そうではありませんか。しかしそれはやめて, 少なくとも1つの段落ぐらいは, 辞書を使わないので読む必要があります。

【7】

解答・解説

A.

- (1) グリーン・ヒル (2) 3 (3) 1時間 (4) 2

B.

- (1) You have to ride the bus for fifteen minutes.
(2) You find very good milk and many beautiful trees there.
(3) The nearest stop is Garden Road.
(4) It was built about two hundred years ago.

Script

CD 4

Thank you very much for taking our bus. We'll soon start for Green Hill Station. It takes about an hour to get there. We'll make short stops at Flower Road, Culture Road, and Garden Road. It takes about fifteen minutes to go to Flower Road, thirty minutes to Culture Road, and forty-five to Garden Road. If you're going to Spring Farm, the nearest stop is Flower Road. The farm has very good milk and many beautiful trees. If you are going to City Library, the nearest stop is Culture Road. The library has a lot of interesting books about our city. If you are going to Garden Park, the nearest stop is Garden Road. This park has a lot of small, beautiful gardens and the old Village House, a famous house that was built about two hundred years ago. We hope you enjoy your ride with us today. Thank you.

全訳

当バスをご利用いただき、ありがとうございます。このバスは間もなくグリーン・ヒル駅へ向けて出発いたします。グリーン・ヒルまで約1時間です。フラワー・ロード、カルチャー・ロード、ガーデン・ロードにて短時間の停車をいたします。フラワー・ロードまでは15分、カルチャー・ロードまでは30分、ガーデン・ロードまでは45分かかります。スプリング農場にお越しになる方は、最寄り駅はフラワー・ロードです。農場にはとてもおいしい牛乳とたくさんの美しい木がございます。市立図書館にお越しになる方は、最寄り駅はカルチャー・ロードです。図書館にはこの町に関するおもしろい本がたくさんございます。ガーデン・パークにお越しになる方は、最寄り駅はガーデン・ロードです。この公園には、たくさんのかわいい庭と、古いヴィレッジ・ハウスがございます。ヴィレッジ・ハウスは、約200年前に建てられた有名な家です。本日は、当バスのご乗車をお楽しみ下さい。ありがとうございました。

【8】

解答

イ

解説

ア 「彼は彼女に会う必要があったのかもしれない。」

イ 「彼は彼女に会う必要があるのかもしれない。」〔might : 控え目な「推量」を表す。〕

ウ 「彼は彼女に会う許可を与えられた。」

添削課題

解答

- (1) He would [used to] share what he had with everyone else.
- (2) Will you finish this report this afternoon?
- (3) If you are late again, you shall be dismissed.
- (4) Shall I help you carry that bag?
- (5) Can you feed the dog, please?
- (6) Although the fire spread quickly, everybody was able to escape.
- (7) There's an elevator in the building, so I don't have to climb the stairs.
- (8) Whatever you do, you must not touch that switch.
- (9) I may [might] hang the picture in the dining room.
- (10) I think the government should do more to help poor people.

7章 助動詞2

要点

■確認問題1

解答

- (1) 私はもう一度あなたに会いたい。
- (2) そのやり方を私に教えてくれませんか。
- (3) 私は今決断するよりむしろしばらく考えたい。

■確認問題2

解答

- (1) 彼はその仕事に最善を尽くすだろう。
- (2) 私は彼に申し訳なく感じないわけにはいかない。
- (3) 彼にはいくら感謝してもしきりすぎることはない。

■確認問題3

解答

- (1) その知らせを聞いて驚くのは当然だ。
- (2) コンサートに行った方がよい。
- (3) 私は飢えるよりもおぼれて死んだ方がました。

■確認問題4

解答

- (1) イ「その本は読んだことがあるかもしれないが、読んだかどうか覚えていない。」
- (2) イ「この作文の英語はうますぎる。彼女が自分で書いたはずがない。」
- (3) エ「姉は今ごろはここに着いてもいいはずだ。というのは、朝早く列車に乗ったのだから。」

問題

【1】

解答

A.

- (1) エ「今日の午後3時にあなたに電話したけど、誰も出なかったよ。」「ごめんなさい。
私は庭にいたに違いありません。」
○ must have + 過去分詞「…したに違いない」
- (2) イ「ジェーンはもう到着しましたか。」「いいえ。彼女は1時間前に来るはずだったのに。」
○ should have + 過去分詞「…するはずだった (のにしなかった)」

B.

- (1) ウ「彼は彼女に会ったはずはない。」[can't have + 過去分詞「…したはずはない」]
ア「彼はまだ彼女に会えない。」
イ「彼が彼女に会うことはできない。」
ウ「彼が彼女に会ったということはまずあり得ない。」
○ unlikely 「ありそうもない」
- (2) ア「彼は彼女に会わなければならなかつたのかもしれない。」[may have + 過去分詞
「…したかもしれない」]
ア「彼は彼女に会う義務があったのかもしれない。」
イ「彼が彼女に会う必要はなかったこともあります。」
ウ「彼は可能ならば彼女に会ったかもしれない。」

【2】

解答・解説

A.

- (1) should not have lent〔「君はあんな人にお金を貸すべきではなかったのに。」と考える。〕
○ should not have + 過去分詞「…すべきではなかった (のにした)」
- (2) have got(ten) off
○ so ~ that … 「非常に～なので…」
○ be absorbed in ~ 「～に夢中になる」
○ ought to have + 過去分詞「…すべきだった (のにしなかった)」
- (3) should ; more cautious [careful]
○ should have + 過去分詞「…すべきだった (のにしなかった)」〔過去において実現しなかったことを示す。〕
- (4) might ; yourself [現在生きているので may を用いることはできない。]

B.

- (1) can 「ビジネスレターは明確であればあるほどよい。」(←「ビジネスレターはどんなに明確に書かれても、明確に書かれすぎることはない。」)

- the ~ (比較級), the … (比較級) 「～すればするほど…」
- cannot ~ too … 「どんなに～しても…すぎることはない」
- (2) may well 「我々のチームはおそらく勝つだろう。」

 - it is likely that ~ 「～ということはありがちだ, 多分～だろう」
 - may well … 「…するのも当然だ, おそらく…だろう」

【3】

解答・解説

- (1) I (cannot thank him too much for) his kindness. [very が不要]
- cannot ~ too … 「どんなに～しても…しすぎることはない」
 - thank ~ for … 「…のことで～に感謝する」
- (2) They (could not help bursting into) laughter when they saw his queer appearance. [but が不要]
- cannot help …ing 「…せざるを得ない」
 - burst into laughter 「どっと笑い出す」
- (3) No man could (see a man suffer as he suffered without wanting to help). [「助けたいと思わずして, 彼が苦しんだように人が苦しむのを誰も見ることはできないだろう。」と考える。]
- not ~ without …ing 「…しないで～することはない → ～すると必ず…する」 [二重否定]
 - could 「可能性・推量」を表す)
 - see ~ do 「～が…するのを見る」
 - as ~ 「～するように」 [「様態」を表す接続詞]

【4】

解答

あなたと私の家の庭を隔てる垣根に沿って1列のりんごの木が私の家にあることに、あなたは気付いていたかもしれません。また、お宅の2人のお子さんが垣根のすぐそばの芝生に座っている光景を、あなたはよくご覧になって楽しんでいたかもしれません。そしてまた、うちのりんごの木が、垣根の上にいわば覆いかぶさり、興味深くお宅のお子さんを見下ろしているような様子をしていることにもあなたは気が付いていたかもしれません。

【5】

解答・解説

- (1) (a) ウ
- be mistaken for ~ 「～と間違えられる」 [mistake ~ for … 「～を…と間違える」]
- (b) イ
- turn green 「(恐れ, 嫉妬, 病気などで) 青ざめる」 [= turn pale]
 - cf. turn red 「(怒り, 困惑などで) 赤くなる, 赤面する」

- turn blue 「(寒さ, 恐れ, 怒りなどで) 青ざめる」

(c) イ

- ～ (現在完了) since … (過去) 「…以来ずっと～」

(d) ア

- come to a halt 「停止する」

cf. bring ~ to a halt 「～を中止 [中断] させる」

(2) 「全訳」の下線部(1)を参照。

◇ he certainly could not have been more wrong

(直訳)「確かに彼はこれ以上間違っていたことはあり得なかっただろう」[つまり、「これ以上間違えようのないほどに間違えた」ということ。]

- certainly 「確かに, きっと」

- could not have + 過去分詞 「…したはずがない」 [「cannot have + 過去分詞」の控え目な表現]

- more wrong [「wrong 「間違った」 の比較級】

(3) ウ

◇ the computer can never be a successful matchmaker

(直訳)「コンピュータはうまく男女の仲をとりもつ役になり得ない」

- can never be ~ 「～であり得ない」

- successful 「成功した, うまくいく」 < success

- matchmaker 「男女の仲をとりもつ人」

ア 「コンピュータは質の高い良縁を生み出す人にいつも代わり得るとは限らない」

- not always 「いつも…とは限らない」

- take the place of ~ 「～の代わりをする, ～に取って代わる」

- of high quality 「質の高い」 [「性質」を表す of]

イ 「コンピュータは物事の手はずを見事に整えることはできない」

- arrange ~ 「～を取り決める, ～の手はずを整える」

- beautifully 「見事に, 立派に」

ウ 「コンピュータは有能な仲人の役割を満たすことは決してできない」

- efficient 「有能な, 腕のよい」

- go-between 「仲介者, 仲人」

全訳

私はアリスに会うとすぐに、コンピュータは果たすべき仕事がちゃんとわかっていることを確信した。アリスはまさに、私がコンピュータでデート相手を探すためのアンケート用紙に記述した通りの女の子であった。彼女は金髪で青い目をしており、キム・ノヴァクに似ていた。実際、アリスはよくその女優に間違えられると私に言った。地元の映画館に行く途中で、私たちは私の友人のジャックに会ったが、彼は私のデートの相手を見ると嫉妬ですぐに顔が青ざめた。私がアリスをデートに誘った時、ジャックは、私が結局最後はみにくい壁の花と一緒になるだろうと主張していた。まあ、(1)彼がこれ以上ないというほど間違っていたのは確かだろう。アリスは美しいだけでなく、機知に富み、社交性に富み、聰明で、またレーシングカーに興味

持っていた。それは私が10歳くらいの頃から興味を持っていた娯楽である。いつか私はインディー500に参加できるように、自分のレーシングカーを買うことができたらと思っている。しかし、3時間も経つと、アリスと私はレーシングカーについてこれ以上話し合うことがなくなってしまい、私たちの会話は完全にとまってしまった。私たち2人は、その気まずい沈黙を破ろうと努めたが、やがて私は、私たち2人は結局相性が良くないという結論に達した。この1回のデートで、私はコンピュータがうまく男女の仲をとりもつことができない理由を悟った。私の結論は、コンピュータによるデート相手の紹介は、うまく合う相手に会うよい方法ではないということである。

注.....

- ℓ. 1 ○ know *one's business* 「自分のすべきことを心得ている」
- ℓ. 6 ○ end up with ~ 「(結局) ~で終わる」
- ℓ. 10 ○ not … any more = no more 「もう…ない」

[6]

解答

イ→ア→ウ／オ→キ→エ

イ [not so … 「そんなに…ない」]

ウ [even は比較級 (worse) を強める副詞]

オ [make it 「出席する、間に合う」 / not … either 「～も…ない」]

全訳

X 「今度の新しい先生は好きじゃないね。君はどう？」

Y 「イ ああ、そんなに悪くはないよ。」

X 「ア どういうこと？」

Y 「ウ だって、去年はもっとひどい先生がいたよ。」

X 「ところで、君は昨日実験室にいた？」

Y 「オ いや、出なかったよ。君もいなかったの？」

X 「キ ああ、いなかったよ。宿題が何だったか君に教えてもらおうと思ったのに。」

Y 「エ 誰か他の人から宿題のことを聞き出さないといけないね。」

添削課題

解答

- (1) He must have forgotten to turn out the light.
- (2) You may [might] as well tell him the truth.
- (3) I might have left my camera in the store.
- (4) "I wonder how the fire started." "The police say it couldn't have been an accident."
- (5) We should have reserved a table in the restaurant.

